

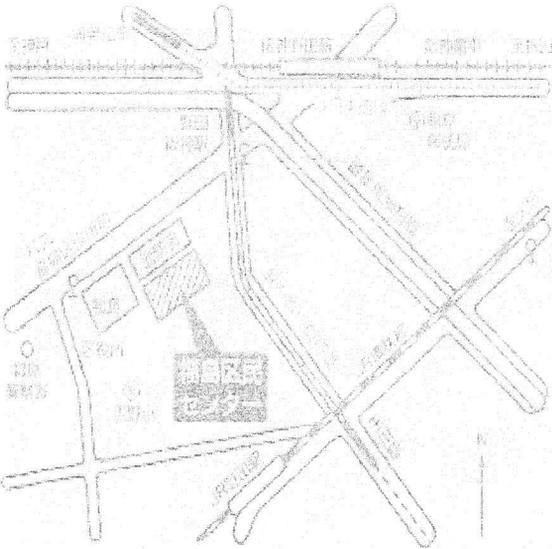
「被害」事実は「加害」責任とつながっている 平和教育の実践からこれからの教育を考える

今回の内容

- ① 報告と問題提起 **伊賀正浩さん** (大阪市立小学校教員)

平和教育を再構築するために～身近な加害の歴史を掘り起こす

- ② 質疑や情報交換、それぞれの経験や意見の交流



日時 2026年2月21日(土)

午後2時～4時30分

会場 大阪市立福島区民センター
(3階 301会議室)

地下鉄 千日前線「野田阪神」駅 7番出口
阪神電車「野田」駅 改札出て左 西へ200m
JR環状線「野田」駅、JR東西線「海老江」駅から
はいずれも約400m

会場使用料・資料代分担 300円

高市政権のもとで対中戦争の準備が急速に進められ、民族排外主義と偏狭なナショナリズムが意図的に鼓舞されています。学校教育への政治の圧力も継続的に強められています。教科書は、政府の圧力によって、加害の歴史記述が年々削除され続けています。

戦前がそうであったように、政治に無批判であれば、学校は再び子どもたちを侵略戦争に駆り立てる装置となる可能性があります。

伊賀さんは、大阪大空襲の事実を子どもたちにどう伝えるかは、大阪の平和教育にとって最重要の課題であり続けると言います。とくに、体験者から直に空襲の凄惨さや戦争プロパガンダの危険性をリアルに学ぶことが、その背後にある日本の「加害」への気づきと平和教育の深い学びとつながっているからです。

現場からの報告と問題提起を受けて、参加者でざくばらんに意見交換を行いたいと思います。

子どもに「教育への権利」を!大阪教育研究会

E-Mail: imaie@shore.ocn.ne.jp Tel:090-6918-1172(井前) ブログ: 会名で検索